日本株レポート

エクイティリサーチ

アイザワ証券株式会社 2022/12/07 審査番号:221207-B2

日経平均は続伸も米国市場では景気後退が意識され下落 横山 泰史

業種:日本株ストラテジー

2.2%

/ 円安が好感される

昨日の日経平均は前日比+65円(+0.2%)の2万7885円と2営業日続伸で終えた。朝方の日経平均は下落した米国市場を嫌気して下落スタートとなったものの、ドル円が円安で推移したことが好感されて、日経平均はプラスへと転じた。業種別騰落率では保険(前日比+1.5%)、鉄鋼(同+1.4%)、その他製品(同+0.9%)が上昇率の上位、鉱業(同V1.4%)、精密機器(同V1.0%)、サービス(同V1.0%)が下位であった。個別銘柄では、ジャフコグループが保有するNRI株を売却するとの報道で売られたNRI(前日比+5.4%)であったが売却価格が決定したと伝わって上昇、他にはNTN(同+4.4%)、クスリのアオキ(同+3.6%)などが買われた。一方で、サッカーのワールドカップにて日本がクロアチアに敗れたことが嫌気されてサイバーエージェント(前日比V4.1%)が下落、エムスリー(同V3.5%)、エーザイ(同V3.2%)などが売られた。

景気減速が意識される

現地6日の米国市場では、利上げ期間が長期化することによって米経済が景気後退に陥ることが意識されて株式は売られ、NYダウは前日比> 350ドル(> 1.0%)の3万3596ドル、ナスダックは同> 225ポイント(> 2.0%)の1万1014ポイントであった。個別銘柄ではEUが個人情報保護の規制を強化する可能性があるとの報道が嫌気されてメタ(前日比> 6.8%)が大幅安となり、米国経済の景気減速懸念からゴールドマンサックス(同> 2.3%)、モルガンスタンレー(同> 2.5%)といった大手銀行が売られた。他にはアップル(前日比> 2.5%)が安く、エヌビディア(同> 3.7%)、AMD(同> 4.5%)など半導体関連銘柄が売られてSOX指数は前日比> 2.3%であった。WTI原油先物は前日比> 3.4%の74.25ドル、米10年債利回りは前日比> 0.04%の3.53%で終えた。

夕日の予定

現地6日のシカゴ日経平均先物は大証比▼200円の2万7660 円で終了、今朝のドル円は1ドル137円程度(7時現在)で推移 している。今日は特に重要な指標の発表は予定されていない。

東京市場マーケットデータ	
2022/12/6 現在	
日経平均	2万 7885 円
プライム売買代金	2 兆 5865 億円
プライム時価総額	699 兆 7870 億円
日経平均予想 PER	12.6 倍
日経平均 PBR	1.1倍

日経平均配当利回り 出所: Quick

日経平均パ	フォーマンス
III III	

年初来高値	2万9388円	2022年01月05日
年初来安値	2万4681円	2022年03月09日

出所: Quick

国内株式元貝代金フンキング	,
2022/12/6 現在	

株価前日比
2.5%
▼ 2.4%
2.0%
▼ 0.3%
5.4%
1.0%
▼ 3.2%
0.8%
1.3%
▼ 0.7%

出所: Quick、アイザワ証券作成

日経平均と予想PERの推移



■ アイザワ証券

金融商品取引法に基づく表示事項

■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等:アイザワ証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第3283号

加入協会:日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関:

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター (略称:FINMAC)

株式の主なリスク

株式は株価の変動等により、損失が生じるおそれがあります。お取引の際は、契約締結前交付書面をよくお 読み下さい。

お客様にご負担いただく手数料等について

国内株式は、取引口座に応じて以下の委託手数料(税込)をいただきます。

対面口座:約定代金に対し、最大1.265%(最大149,875円、2,750円に満たない場合は2,750円)

インターネット口座「ブルートレード」: インターネット発注 最大 1,650 円

コールセンター発注 約定代金が55万円以下の場合は1,650円、

約定代金が55万円超3,000万円以下の場合は3,300円

コンサルネット発注 約定代金に対し、最大 1.265% (最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円)

アイザワ証券 免責事項

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者または弊社と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようにお願いいたします。

LINE公式アカウント はじめました!

ベトナムを中心としたアジア情報 をお届けします。

友だち追加はこちらから!



ID: @aizawa